

Monthly Letter

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)
『地域創生の担い手を育み活気あるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学



文部科学省
地(知)の拠点

「はばたけ地域創生士！サミット」を開催しました。

11月13日と14日に「はばたけ地域創生士！サミット」を、福井県民ホールで開催しました。全国でCOC+事業を展開している県内外の30大学と、行政機関・企業を含む計52団体約200名が参加しました。その概要について報告します。

13日は、文部科学省の中野理美地域学習推進課長と福井県の櫻本宏総務部長を迎え、福井大学の眞弓光文学長は「サミットは各地域の課題解決の体験談や思いを互いに直接聴ける機会であり、これを機に全国のCOC+事業が今後、協働しながら発展してゆく事を期待します」と開会挨拶をしました。

ふくいCOC+事業推進責任者である、福井大学の岩井善郎理事・副学長は、これまでの取組み、特にCOC+事業の背景・目的について、大学と地域がともに協働・挑戦していくことの重要性を説明しました。

基調講演として、福岡女子大学の和栗百恵准教授が「なぜ『地域創生』か？～来る社会と、大学教育で身につけるべき力から考える～」と題し、『何を学び』、『どのように学ぶか』自らの行動を、リフレクション(ふりかえり・省察)しながら身につけるべき能力(主体性・実行力・創造力・考え抜く力など)を培うことが大学教育に求められている」と強調しました。

その後、地域でさまざまな取組みに挑んだ秋田・岐阜・佐賀・富山・福井各大学の学生の皆さんが実践内容を発表して、参加者がそれぞれの奮闘ぶりを知り、地域貢献への思いを共有しました。

後半では、和栗准教授、福井県経営者協会の峠岡伸行専務理事および岐阜大学地域協学センターの益川浩一センター長が「未来に向けたCOC+」をテーマに、大学や学生の意識改革や地域との関係性などについて鼎談を行いました。最後に、福井大学の中田隆二理事・副学長から、サミット初日のまとめと2日目のワークショップへの激励の言葉がありました。

14日は、学生27名で6グループ、教職員35名で5グループの総計62名が参加してワークショップが行われました。活発な意見交換・情報交換の後に、このワークショップを通して学んだことを、参加者一人一人が30秒で「宣言」として発表し、今後の活動に活かすことを誓いました。

最後に、共催である岐阜大学の野々村修一理事・副学長から、「今後とも、各地で行われているCOC+事業がこのような形で連携し、より効果を出していくことを目指し、このような事業が継続されることを望みたい。」とのサミット全体を通しての閉会の挨拶があり終了しました。「サミット」と銘打った今回の取組みでしたが、無事終了できましたのは、県内COC+5大学及び事業協働機関の方々のご協力の賜物と改めて認識した次第です。



サミットの様子



ワークショップの様子

(後日、実施報告書にとりまとめ、ホームページ: <http://www.allfukui-cocp.jp/>に掲載予定です。)

ふくいブランド
創出分野WG

「福井へしこサミット2018」を開催！

福井工業大学環境情報学部デザイン学科では、「ふくいブランド創出WG」の活動の一環として、11月10日に、「福井へしこサミット2018」を開催しました。会場は、若狭町の「みささち」(若狭町みささち漁村体験施設)です。へしこは、福井の気候風土を活かした郷土料理であるだけでなく、嶺北と嶺南に共通する食文化として重要です。



“へしこ”料理

このイベントでは、昨年、福井工大の学生が漬けたへしこの樽あげ、県内各地のへしこ生産者さんの製法の特徴を取材、学生やプロの料理人が提案するへしこ料理の紹介、へしこに合う日本酒の提案などの後、へしこ料理の試食会を実施。さらに「へしこのポテンシャル」と題したシンポジウムを開催し、へしこの研究者や開発者、生産者、商品企画のデザイナーなどが意見交換しました。ふくいブランドの切り札として、へしこの可能性を実感できるイベントになりました。

(福井工業大学 環境情報学部 デザイン学科 教授 川島 洋一先生より寄稿いただきました)



“へしこ”の
樽あげ



看護福祉分野
WG

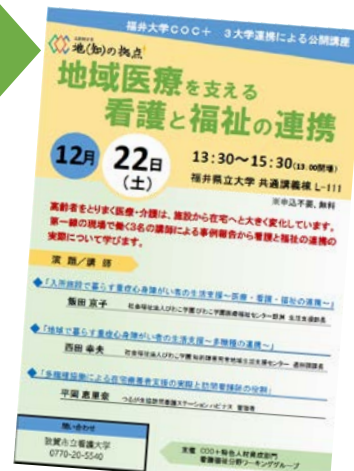
「地域医療を支える看護と福祉の連携」 3大学連携による公開講座を開催！

特色人材育成部会 看護福祉分野ワーキンググループでは、敦賀市立看護大学、福井大学、福井県立大学の3大学が連携して、「原子力災害に対応できる人材」ならびに「看護と福祉が協働する地域志向のケアに対応する人材の育成」を目指して活動をしています。右記チラシのとおり、12月22日に、3大学連携による公開講座を開催します。高齢者をとりまく医療・介護は、施設から在宅へと大きく変化しています。将来、看護福祉分野を志す3大学の学生達が、第一線の現場で働く3名の講師による事例報告会から、看護と福祉の連携の実際について学びます！

日程： 平成30年12月22日(土) 13:30-15:30

会場： 福井県立大学 共通講義棟 L-111 (申込不要、無料)

お問合せは、敦賀市立看護大学(0770-20-5540)まで



ふくいブランド
創出分野WG

県産品防災グッズ「福がこい」クラウドファンディング

平成30年12月20日23:59までに、目標金額に達しないとプロジェクトが前に進まない、「All or Nothing方式」です！

この記事を見たら、まずはサイトにアクセスを！

(アクセスすると、詳細な活動内容がご覧いただけます)

<https://www.makuake.com/project/fukugakoi/>



締切
迫る！

学生の

チャレンジを応援しよう！

右記コードからアクセス！



※「福がこいプロジェクト」とは…

- ① 福井県内の特産品を用いた“お土産防災品”というセットを提案しています。
- ② デザインにイロドリを持たせることで、防災へのマイナスイメージを払拭し、防災備蓄の意識を高めることを目的としています。

編集後記

今月号に掲載した「サミット」の中でも記載しましたが、1日目に各大学の学生からの実践・意見発表がなされました。ふくいCOC+からは、昨年度第1回の「ふくい地域創生士」に認定された2名の方から、主に、「これから地域でやっていきたいこと」を中心に話していただきました。非常に熱のこもった話で、感動しました。新しい年を迎えるにあたり、この事業の広がりに向けたエネルギーを頂きました。(舟木)

